

ガスレビュー

GAS REVIEW

工業ガスを通じて世界を射る <https://www.gasreview.co.jp>

カオス工業の
経営と展望

No.989

2022年8月1日号

月2回 / BIWEEKLY
1日・15日 発行

昭和57年4月16日
第三種郵便物認可



ガラス溶解でも水素専焼採用の可能性が見えてきた。

地球の恵みを、社会の望みに。



エア・ウォーター

検索

市場動向

03 世界的な「鉄冷え」、レアガス供給に不安感強まる

経営

05 エア・ウォーター、2030年度を見据えた経営目標「terrAWell30」策定

トップインタビュー

14 「地産地消をキーワードに産業ガス、エネルギー事業を拡大する」
エア・ウォーター 白井清司 社長

15 「米国で花開く水素ステーション事業、国内では実証用水素需要本格化」
岩谷産業 間島寛 社長

技術レビュー

16 太陽日酸、日本電気硝子と共同でガラス溶解炉での水素専焼を実現

機器メーカー
トップインタビュー

20 「当社のガス検知器を使って頂くことがお客様のSDGsに寄与する」
理研計器 小谷野純一 社長

焦点

24 「需要は回復基調も、材料コスト上昇と部品の納期遅延で難しい生産局面にある」
エーテック 町頭禎之 社長

工業ガス業界人夏期名刺広告特集

- 8 国内市場 部材不足長期化する半導体製造装置向けガス関連機器 | 早すぎた夏、ドライアイス供給に黄信号 | エア・ウォーター、7月15日出荷分より産業・医療ガス全般の価格改定実施 | 大阪ガス、カーボンニュートラルリサーチハブを公開 | 仁木工芸、極低温冷凍機が量子コンピューターデバイス評価向けに販売好調 | 三國重工業、国内の核融合炉開発プロジェクト向けに真空ポンプを受注 | 太陽日酸、8月出荷分より産業ガスを価格改定
- 11 投資動向 太陽日酸、兵庫県に総合耐圧検査場を新設 | エア・ウォーター、亀山液酸竣工式開催
- 17 時評コラム バリューインパクト、『Press Vac』圧カトランスミッター、日本でも販売開始 | ダイヘン、溶接内部の欠陥自動検出口ロボットシステムを開発 | サイテム、水素吸蔵合金小型タンク使用の燃料電池搭載のポータブル電源販売開始 | ジェイ・サイエンス・ラボ、医療ガス用ガスクロ、ヘリウム消費量半減の新モデル発売
- 21 水素エネルギー ヤマト・HzEnergy Japan、京都舞鶴でFCフォークリフト用のトラック型移動式水素ステーションを実証
- 24 HOT ASIA PRESS 山東華城同方電子材料設立 | エア・リキード、中国でバイオメタンプラント建設
- 25 溶接・溶断 2022国際ウエルディングショー開催
- 27 海外レポート 日本酸素ホールディングス、ペトロベレー向け水素ガス・窒素ガス大規模オンサイトビジネス獲得
- 29 ニューアフリケーション 三菱重工冷熱、マイナス100℃まで対応領域拡大の窒素冷媒ブライン冷凍機開発
- 31 DATA 2022年5月ヘリウム輸入単価
- 31 最新工業ガス関連株式会社市況
- 32 ガスレビュー指標 機器編
- 33 流通回廊 サイサン 第47回Gas One21世紀クラブ開催 | エア・ウォーター、木質バイオマスガス化発電の廃熱利用によるCO₂排出削減が「J-クレジット」に登録 | 日酸TANAKA、長野工場で6月より太陽光発電稼働 | 北海道電力、200Nm³/hの水電解装置導入 | 岩谷産業、ブロックチェーン技術を持つベンチャー企業に出資 | 大山春雪さぶーる、大山ハム新工場竣工
- 34 組織人事 協和ガス、社長交代 | ジェイ・サイエンス・ラボ、社長交代 | 太陽日酸

Driving performance. Sustaining life.

The Gas Professionals

日本酸素ホールディングス

www.nipponsanso-hd.co.jp

時事コラム

バリューインパクト

待望の『PressVac』圧力トランスミッター、日本でも販売開始



日本で販売開始した『Press Vac』圧力トランスミッター

韓国のTKFやDKL、Kなどのバルブ、継手、フィルター類を販売するバリューインパクト（横浜市中区、榎本和則社長）は、2018年から、日本市場で品薄となりがちなステンレスチューブや圧力計等、韓国や台湾の製品を独自ブランド『PressVac』製品としてラインナップしている。昨年のセミンコンジャパンで初展示した韓・WISE社の圧力トランスミッターも『PressVac』に加え、半導体設備投資が旺盛な台湾で先行して年初より販売してきたが、すでに1万台近くを受注している。他社製の納期長期化等の

影響もあり、日本市場でも同製品の要望が高まったことから、7月より販売を開始した。

圧力トランスミッターとは配管を流れるガスの圧力が適正に保たれているか調べるもので、配管に設置される。圧力計はその場で目視するが、トランスミッターはケーブルで圧力数値を電送し、モニターでデジタル表示や、圧力に異常が出れば、自動的にバルブを遮断するなど、自動化にもマッチする計器である。PressVac圧力トランスミッターは「ゼロ点調整トリマー」付きで、ゼロ点を補正できるのが特長。榎本社長は「ほとんどズレることはないが、台湾や日本ではゼロ点スイッチ付きのご要望が多かった。製造元と協議し標準化した」と指摘。

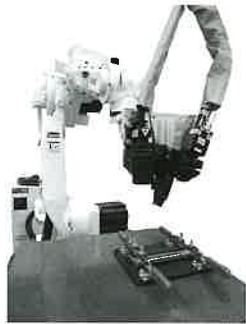
また、納期を2ヶ月としているが、定期購入顧客に対しては在庫も考えるとしている。「計器である圧力トランスミッターはユーザーによっては（経年によるズレを心配し）在庫品を嫌うので、受注生産が基本だが、大量需要のある場合は要望に合わせ、在庫も可能」とし、在庫した場合には即納対応が可能とする。「他のメーカーが電子部品の調達困難などで納期が軒並

み遅れるなか、当社の製造元は素材も部品も余裕を持った調達をしており、納品に遅れが出ていない。現在、台・日ともに需要が旺盛となっていることから、精力的に販売していきたい」とし、今年度2万台の販売を目指す。

ダイヘン

溶接内部の欠陥自動検出口ポットシステムを開発

ダイヘン（荻毛正一郎社長）は、レーザ超音波を用いて溶接内部の欠陥を自動で検出する口ポットシステムを開発した。2023年度中の製品化を急ぐ。



2つのレーザを使い分けて溶接欠陥を自動で計測する

自動車産業など大量生産現場での溶接部の外観検査は、目視検査やカメラなどでの画像処理技術を用いて行われる。一方で、溶接内部の検査においては、抜き取りによるカット検査を行うのが主流だ。同社では、こうした検査工程の自動化を図るべく、今回、レーザ超音波を用いた非破壊検査

による溶接内部欠陥検出口ポットシステムを開発した。

開発したシステムに採用したレーザ超音波法とは、超音波の送信にパルスレーザを、受信にレーザ干渉計というように送受信に2つのレーザを使い分けて検査対象内部の傷や欠陥の計測を非接触で行うというもの。生産ラインに適用できるように口ポットシステム化している。

非破壊検査としては、従来の超音波検査や放射線透過検査などもあるが、同社によると「従来の超音波検査では、6mm未満の薄板への適用が難しく、深触子と呼ばれるセン

サーを溶接箇所接触到必要があり、自動化は困難とされてきた。また、放射線透過は検査対象を密閉された装置内に入れる必要があるため、サイズが大きくなるなど、どちらも生産ラインへの適用には課題がある」とし、レーザ超音波による検出法を選んだ。

同システムは、2023年度中の製品化を目指しているところであるが、さらに先の開発目標としては、溶接しながら内部欠陥を検出するという「インプロセス計測」の実現も視野に入れており、検査工程での研究開発も強化していくとしている。

PressVac

TRANSMITTER

超高純度ガス用
圧力トランスミッター

標準納期：約1.5ヵ月

HPT03シリーズ
ゼロ調整機能付

精度：±0.25% FS
継手：SUS316L EP
接ガス部材質：センサー-SUS630/ハステロイC22
/接続部SUS316L

バリューインパクト有限会社

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町 24-8 Tel 045-212-2731 Fax 045-212-2736
本社 / 横浜技術センター / 仙台営業所 / 台湾支店